

レプトスピラ症って どういう病気？

レプトスピラ症は、世界中で発生がみられ、特に熱帯・亜熱帯地域に多くみられます。日本でも散発例があり、中国や東南アジアなどでは最近多発しています。また洪水や大雨の後などに流行することもあります。

病原体は、スピロヘータというらせん状をした細菌です。ネズミやイヌの他、多くの動物に感染しますが、特にネズミは感染しても症状が出ずに腎臓で菌を増殖し、尿とともに菌を排出し続けます。

レプトスピラ症は菌を含む水を飲んで感染する場合（経口感染）と、菌を含む水や尿にふれて皮膚から感染する場合（経皮感染）があります。

患者の多くは、水田作業、土木工事、清掃作業、アウトドアレジャーなどで感染しています。またイヌも保菌することがあり、イヌとの過剰な接触やトイレ交換の後に手洗いを怠ると感染することもあります。

人獣共通感染症（Zoonosis）から あなたを守るために

① 動物に咬まれたり引っかかれたりしない ように気をつけましょう

- 温和な動物を選んだり、正しいしつけをしましょう。
- 動物の爪を短くしておくとういでしょう。

② 過度の接触はいけません

- キスをしたり、一緒に寝ないようにしましょう。

③ 生肉をあたえないように

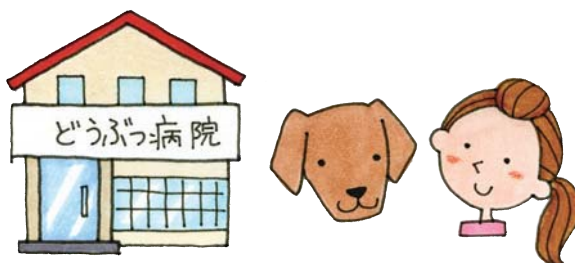
- 生の肉には病原体が入っていることがあります。加熱して与えるとよいでしょう。

④ 排泄物は適切に処理しましょう

- 排泄物は速やかに処理しましょう。その後の手洗いも忘れずに。

⑤ 定期的に検診を受けましょう

- 獣医師による定期的な検診で動物の健康を維持しましょう。また、ワクチンなどで予防できる疾病は予防しましょう。



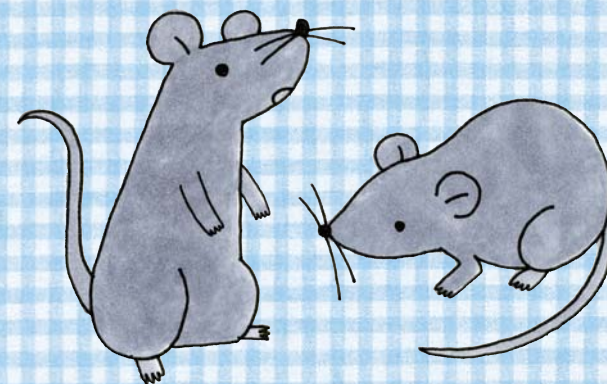
2009年 日本小動物獣医師会
人獣共通感染症委員会編
<http://www.jsava.com/>

掲載記事・イラストの無断転載を禁じます

人と動物の共通感染症シリーズ

Vol.7

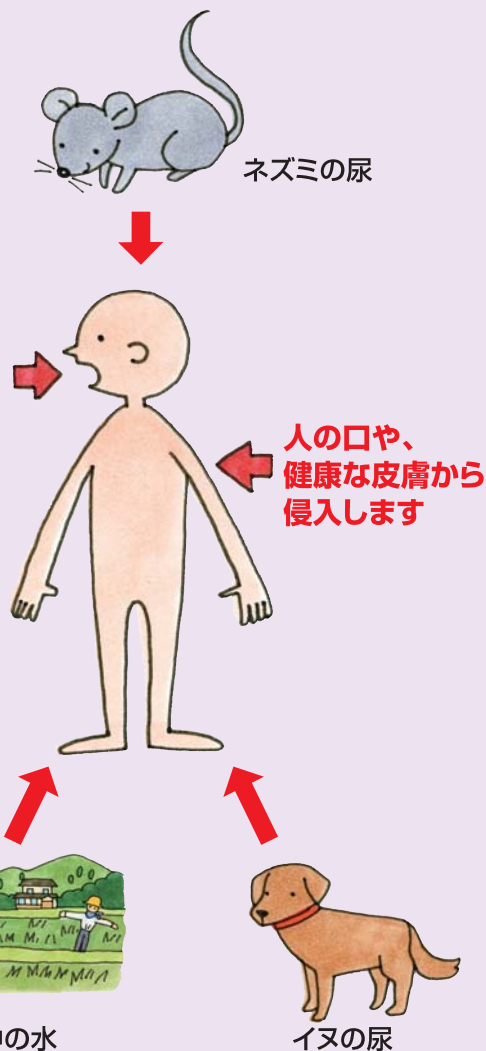
レプトスピラ症



日本小動物獣医師会

どうやって感染するの？

レプトスピラ症はこうして感染します。



人の口や、健康な皮膚からも侵入します。
夏から秋にかけて、アウトドアレジャーなどを飼い犬と一緒に楽しんでいる姿をよく見かけますが、湿地や水溜りで、同時感染する危険性も考えられます。

ヒトや動物に感染するとどうなるの？

ヒトの場合

症状

軽症型と重症型があります。
はじめは、悪寒、発熱、頭痛、高度の全身倦怠感、筋肉痛、腰痛などと、特徴的な眼球結膜炎(白目)充血がみられます。
4～5日後には軽症型では発熱などが主な症状となります。重症型はワイル病と言われ、黄疸、出血傾向、蛋白尿が現れ、腎不全や肝不全を起こし、早期に適切な治療を行わない場合の致死率は20～30%です。

診断

医療機関にて臨床症状や細菌学的検査などによって診断します。

治療

専門の医療機関にて治療します。

予防

ワクチンで予防します。
※現在、人用のワクチンは製造休止となっています。



動物の場合

症状

イヌがうつると、発熱、黄疸、皮膚出血、口内出血などの出血傾向、舌潰瘍、腎不全症状などを起こします。
イヌにこのような症状が出たら直ちに動物病院で治療を受けましょう。
イヌの場合、家畜伝染病予防法の届け出伝染病に指定されています。

診断

細菌学的検査などによって診断します。

治療

抗生物質で治療します。

予防

ワクチンで予防します。

